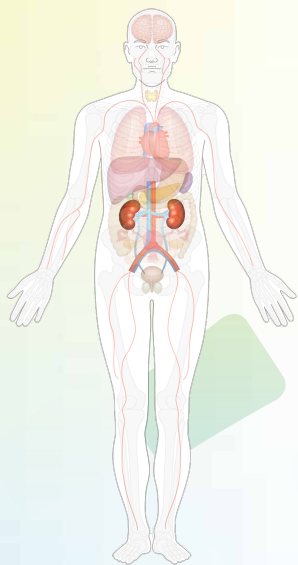




腎疾患



検査項目	目的		腎疾患	
	対象			
※検査項目をクリックいただくと詳しい情報を閲覧できます。				
生化学 I 総項目数	主な臨床的意義		10	5
実施料			109	93
判断料			144	144
●合算			253	237
1	γ-GT	胆道閉塞・アルコール肝炎・脂肪肝		
2	AMY	膵臓・唾液腺・腎臓		
3	ALP	胆道・骨		
4	AST	肝臓・心臓	●	
5	ALT	肝臓		
6	CK	心筋・骨格筋・甲状腺	●	
7	LD	心臓・肺・骨格筋・溶血		
8	コリンエステラーゼ	肝硬変・脂肪肝・農薬中毒・麻酔・栄養	●	
9	総ビリルビン	肝炎・胆道閉塞・溶血		
10	直接ビリルビン	肝炎・胆道閉塞		
11	クレアチニン	腎臓・筋肉量	●	●
12	尿素窒素	腎臓・組織蛋白異化	●	●
13	総蛋白	栄養	●	
14	アルブミン	栄養・炎症	●	●
	A/G 比 (計算項目)	一般状態	○	
15	尿酸	痛風・腎臓・肥満	●	●
16	ブドウ糖	糖尿病	●	
17	中性脂肪	動脈硬化		
18	総コレステロール	動脈硬化	●	●
19	LDL コレステロール	悪玉コレステロール・動脈硬化		
20	HDL コレステロール	善玉コレステロール・動脈硬化		
21	HbA1c	糖尿病		
22	CRP	炎症		

・ HbA1c は血液形態・機能的検査項目で、実施料は 49 点、判断料は 125 点、CRP は、免疫学的検査で、実施料は 16 点、判断料は 144 点。  
 \* CRP の適応疾患については、診療報酬支払基金の判断に違いがあるので注意が必要  
 ○は、計算項目で保険上算定できない。

◆腎疾患

- ・ 糸球体濾過量 (GFR) の指標として、クレアチニン、尿素窒素と尿酸。さらに加えるとすれば、低分子蛋白である AMY も GFR の指標として評価できる。
- ・ 糸球体からのタンパク漏出による喪失を評価するための総蛋白とアルブミンを測定する。
- ・ ネフローゼ症候群になると、アルブミンの低下以外に α2 グロブリン分画の相対的增加で A/G 比が低下し、総コレステロールやコリンエステラーゼが増加する。
- ・ 言うまでもなく、最も感度が高いのは、尿検査である。
  - ✓ 血尿・糖尿・膿尿 (エステラーゼ反応)・ケトン体・尿比重・尿中亜硝酸
  - ✓ 蛋白尿、微量アルブミン尿
  - ✓ 尿沈渣 (白血球、赤血球およびその形態、顆粒円柱、異形細胞など)